

文学研究科アセスメント・ポリシー

修士課程

学修成果	測定方法	測定時期（学修段階）
<p>高度に専門的な文献を読み解く能力を身につける。</p>	<p>直接評価：成績 間接評価：学生生活・学修行動調査</p>	<p>2年次</p>
<p>文献・資料を健全な批判精神を持って分析し、新たなテーマを発見していく能力を身につける。</p>	<p>直接評価：成績・学修成果到達度チェックリスト 間接評価：学生生活・学修行動調査</p>	<p>修士論文成績評価時</p>
<p>実験やフィールドワークを行う分野においては、目的にかなった研究方法を立案実施し、そこで得られたデータを的確に分析し、研究に活用する能力を身につける。</p>		
<p>先行研究から得た学識に、新たな知見を加え、的確な表現で説得力のある論文にまとめる高い言語能力を身につける。</p>		
<p>多面的な様相を持つ現代社会のなかで、能力や素養を活かすべく他者との相互理解を実現し、自らの学問的発見を積極的に発信しつつ、専門的な貢献を行う能力を身につける。</p>		

博士後期課程

学修成果	測定方法	測定時期（学修段階）
<p>修士課程で得た知識をさらに深め、より広い視野から新たな問題を発掘し、十分な研究の蓄積を経て、それぞれの学問分野に寄与できるような論理的かつ実証的な論文をまとめる能力を身につける。</p>	<p>直接評価：学修成果到達度チェックリスト                      間接評価：学生生活・学修行動調査</p>	<p>博士学位論文判定時</p>
<p>研究者として自立し、計画的に行動を進めると同時に、広範囲における学問的発信と交流を行っていく能力。</p>		
<p>独創性を持ち、現代における複雑で学際的な問題系にも柔軟に対応していく能力。</p>		
<p>健全な批判精神を持ち、社会および自然界の事象を多面的に捉え、既存の問題設定に対して建設的な提案を行う能力。</p>		